

まちのニュース



葉たばこ種まき

1月28日、葉たばこ育苗組合の播種式が鶴田町の薩摩地区葉たばこ育苗施設で行われました。

たばこ耕作者や関係者が、今年の豊作を祈願して乾杯した後、苗箱に種をまきました。

現在、本町では20人が面積約21ヘクタールで生産しています。



豊作を願って種まき

郷土選手の活躍

2月14日から18日までの5日間、第51回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会が行われ、本町出身の池田彌三郎選手（陸上自衛隊国分）・原之蘭秀則選手（陸上自衛隊国分）・手塚健星選手（第一工業大学）・今別府辰徳選手（樟南高校）が出場し、川薩地区チームの代表として活躍されました。

また、今別府選手が大会3日目の第4区（南瀬く宮之城）を走り、郷土のあたたかい声援を受けました。
なお、川薩地区チームは総合3位でした。



力強い走りを見せた今別府選手

交通安全の誓い

1月30日、高齢者交通安全メリット抽選会が町文化センターで行われました。

これは、高齢者が関係する交通事故を防ぐため、65歳以上の方を対象にした交通安全教育を実施し、受講された方には点数をつけて満点に達すると抽選会に参加できる制度です。

当日は、日本自動車連盟の方の講演や花井愛子ショー、お楽しみ抽選会が行われ、最後には交通死亡事故をなくするための「交通安全の誓い」が読み上げられました。



抽選会の様子

おいしい学校給食

本町では1月23日を「鹿児島県をまるごと味わう学校給食」の日に設定し、町内の児童生徒と町三役や生産者などが一緒に給食を味わいました。

これは、学校給食に新鮮で安心・安全な食材を活用し、児童生徒に地域の特産物や郷土料理などに関心をもたせ、健康管理などの健康教育の推進を目的に行われたものです。

子どもたちは、町三役や生産者などと会話をしながら、町内産の農畜産物でできた給食をおいしそうに食べていました。



生産者と楽しい給食